

DATA OKのISO27001情報保護国際標準認証取得について

DATA OKの情報保護および管理システムが国際標準を遵守していると認められ、ISO27001情報保護国際標準認証を取得することになりました。ISOから提示された情報等級分類、情報取り扱いに関する人事管理、セキュリティ区域指定、接近管理などの情報保護に関する133の統制項目をクリアし、顧客のデータ保護、管理およびセキュリティにおいてISOが提示した情報保護国際標準規格を守っていることが認められました。

[DATA OKのセキュリティについて](#)

ISO(国際標準化機構 International Organization for Standardization)

国際標準化機構という名称を略称で表そうとしたとき、言語によって異なる略称になってしまう(英語ではIOS、フランス語ではOINなど)。そこでギリシア語のisos(均等、均質)にちなみ、言語や地域によらない短縮名としてISOが選ばれた。

国際標準化機構で策定された国際規格(ISO、International Standard)は、ISO NNNNN-P:YYYYという形式で識別する。NNNNNは5けた以内の規格番号である。複数の部(part)からなる規格は、部番号-Pをもち、省略すると複数の部全体を表す。:YYYYは制定年または改定年であり、改定年を問題にしないときは省略してもよい。IECと共同で策定した情報工学分野の規格は、ISO/IEC NNNNN-P:YYYYという形式で表す。IS規格ではない場合、一般仕様書(PAS)、技術仕様書(TS)、技術報告書(TR)などの略称が付けられる。(Wikiより)

[ISO国際標準化機構についてWikiからもっと詳しく](#)

ISO27001 133の統制項目適用

ISO27001国際標準はセキュリティを定義できるように体系的な最適化を行いセキュリティプロセスを構築しています。情報管理体系の優先順位を決め、合理的な意思決定ができるようにISO27001の133の統制事項の中で業務上該当外の項目以外はすべて適用されています。

DATA OKのISO27001取得は、情報の機密性(Confidentiality)、無欠性(integrity)および可用性(Availability)が維持されていることをISOが保障するという事です。

他のセクションは、経営責任、内部監査、ISMS向上、Annex A、Annex B(OECD原則およびこの国際標準)、Annex C(ISO9001とISO14001、その標準の一致)として構成されています。

[ISO27001情報セキュリティマネジメントシステムについて](#)

今回の[データ復旧認証取得によってDATA OK](#)の情報保護管理体系が世界的水準であることが国際的に認められるようになりました。そして、このプロセスは次に紹介する分野で広範囲な効果を産み出します。

- ・顧客、パートナー、法務関係など第三者に対するセキュリティ証明
- ・競争優位:独立機関が文書化した品質
- ・構造透明化、最適化を通じた費用節減
- ・セキュリティを業務プロセス上の必須要素へ位置づけ
- ・ITリスクおよび残余ITリスク認識およびモニタリング
- ・構造およびプロセスの文書化
- ・経営陣のセキュリティへの認知度向上
- ・セキュリティ上の観点で組織のプロセス評価
- ・業務運営セキュリティ優先順位指定:業務連続性管理
- ・グローバル公認標準
- ・ipセキュリティ情報体系強化
- ・ITプロセス管理標準(ITIL)とISO 27001比較参照
- ・経営システムをISO 27001からISO 9000に有機的に移動

ISMS(情報保護管理体系,Information Security Management System)

ISMSとは情報の機密性(Confidentiality)、無欠性(Integrity)、可用性(Availability)を実現するための一連の過程および活動を言います。

情報保護管理体系は組織の情報資産に対する安全性および信頼性を向上させて、組織の情報資産を体系的で持続的に維持するため、情報保護政策樹立、情報保護管理体系範囲設定、危険管理、具体化、事後管理の5段階の過程を経て、運営されます。

[ISMS\(情報保護管理体系\)について](#)

データ復旧研究センター社員の ISO 審査員資格取得

[DATA OK](#)では、世界標準で一段と確かな安心できるサービスを実施できるよう、単なるISO取得に留まらず、ISO認証の適否を審査できるISO審査員資格を社員が取得する程、情報セキュリティ教育を徹底しております。

その結果、代表取締役と各専門チームのチーフ 2人がISO審査員資格を取得しております。お客様のデータを安全に守るために[データ復旧](#)研究センターではどんな努力も惜しみません。

[データ復旧](#)技術とデータセキュリティの世界標準化のためにこれからも努力し続けます。

[拡大](#)

Certificate : ISO9001:2000、14001:2004

DATA OKでは、ISOの要求事項を適切に満たしていることが認められ、ISO27001に加え、データ復旧サービス分野の品質マネジメントシステムISO9001:2000と、環境マネジメントシステムISO14001:2004を取得しております。

ISO9001とは、業務プロセスの維持や改善によって、製品やサービス品質の向上を図るための国際規格です。

ISO14001とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）が発行した、環境マネジメントシステムの国際規格を言います。

[データ復旧研究センター](#)は、今後とも、お客様に信頼される企業作りのために、継続的な満足のいただけるサービスと品質改善に努力して参ります。

ISO 9001:2000 NO.015470/07

データ復旧業務, パソコンサービス, WEBサービス, SOFTWARE development

[拡大](#)

[拡大](#)

ISO 14001:2004 NO.E12115/07

データ復旧業務, パソコンサービス, WEBサービス, SOFTWARE development

[拡大](#)

[拡大](#)

国際ディスクドライブ協会会員

IDEMA JAPAN(The International Disk Drive Equipment and Materials Association JAPAN)は、ディスクドライブ業界の健全な発展を目指した非営利団体です。

本協会にはディスクドライブメーカーはもちろん、メディア、ヘッド、モータ等の部品メーカーや、サブストレートやマグネット等の材料メーカー、チップを提供するICメーカー、そしてそれらを製造する製造装置メーカー、さらにはこれらを取り扱う商社などが参加しており、ディスクドライブ業界に関連する全ての企業が結集していることが特長です。

本協会は、業界の発展・交流促進を目的とした活動を行っており、(株)DATA OKは、IDEMA USAやIDEMA ASIA PACIFICとも連携してグローバルに活動を展開しております。

[IDEMA 会員社をみる](#)

Data Recovery Group & Organization **グリーンマーク**

DATA OKはData Recovery Group & OrganizationのDRGグリーンマークも取得しています。